

# 秋田県立大学 図書館だより



No. 17 2008.7

## 》》》》》》》》》 目次 《《《《《《《《《

書物の森、図書館 —新入生の皆さんに—

図書館運営委員長 安原 盛彦…………… 1

電子ジャーナル活用法 ～国内論文を探す～ …… 3

図書館からのお知らせ／夏期休業期間中の図書館利用について…………… 6



## 書物の森、図書館 —新入生の皆さんに—

図書館運営委員長 安原 盛彦

(システム科学技術学部建築環境システム学科教授)

図書館には本がたくさんあります。一冊の本を一本の木に例えますと、図書館は書物の森と言ってよいところだと思います。事実、紙（パルプ）からつくられた本が、本棚の中にあり、まさに林立しています。私が皆さんにお話ししたいのは、その本の森の中を歩いて、この四年間で一冊の本を見つけてほしいということです。

ただ、一冊の本を見つけることは大変難しく、多くの方がだいたい一生かけて一冊の本、あるいは「座右の書」を見つけています。難しいですが、この四年間でそれに近い形で、君たちが見続けていく本が一冊見つければいいと思います。図書館という場所はそういう本が見

つかる可能性が非常に高い所です。

私は、図書館は本が積んである場所だと思っています。沢山の本があるわけですが、図書館に限って言えば、本は必ず整理されて積んであります。どこに何があるか、パソコンの端末から検索すれば、あるいは図書館の係の人に聞けば、大体分ります。

図書館という施設は、その中にある本が、ある人によって全部読まれていたとすると、これは大変不名誉なことです。この大学は開学十年目ですが、開学の時に、図書館に入れる本を、全講座（グループ）の教員が選びました。その選んだ結果が、今の秋田・本荘両キャンパスの

図書館の蔵書となっています。更にこの十年間、毎年本を買い続けていますので、かなり本が増えています。ですから、この図書館もまた、誰一人として全ての本を読んだと言う人はいません。それだけ多くの本が有るわけで、一冊の本が見つかる可能性が非常に高い場所だということになります。

図書館は本を積んで置く所と言いましたが、積んでおくということは皆さんも高校時代から経験済みだと思いますが、本を買ってきてすぐ読まないで積んでおく。駄洒落じゃないですけど、「積読<sup>つんどく</sup>」です。それは本を読む非常に効果的な方法ではないかと私は思います。せっかくお金を出して買ったのだから是非読まなければいけないと意気込んで丸々一冊最後まで読む、それも読書の方法ですが、それだけでは非常に苦痛も伴います。ですから全部読まなくてもよい。ある部分だけ読んでもよい。ある部分を読んでボンと置いておく、また日をおいてぶらぶら部屋の中を歩いているとその本が目に入る、そしてまた読む。そういうことでとても良いのではないかなと思います。

また本を読むことも大切ですが、本を読む場所を何処にするかということも大切なことではないでしょうか。私も一箇所ですと一冊の本を丸々読むということはまずありません。あっちで読み、こっちで読みということをやります。一つの場所で、そんなに集中できないからです。

学生時代に、本を読める場所を探したことがあります。良い場所を見つけたのですが、それは何処かといいますと、デパートの階段室の踊り場です。そこで本を読みました。

デパートには、不特定多数の人々が集まってきます。大変な数ですから、もし火事や地震が起ると、スムーズに避難出来なければいけません。その為の避難階段が、デパートの中にいっぱいあるわけです。床面積に対して避難階段の

幅が決められていますので、ある幅以上の階段をとっておかなければならない。非常に広い階段室があります。そこに行って本を読んでいた訳です。

何故かと言いますと、普段は地震や火事があるわけではありませんから、エスカレーターやエレベーターが使われ、階段室の空間は通常、誰もいなくて、デパートの中でもかなり静かな、広い場所です。しかも何かざわめきがあって、それも特定の音ではありませんから、そちらに神経が向かなくて、本に集中できます。そこで本をよく読みました。

皆さんは、いったん大学のキャンパスの中に来てしまうとなかなか外に出る機会がないと思います。この大学の中には椅子がいっぱいあります。もちろん教室の中にも在りますが、教室ではない廊下といいますか、ホールだとか空いたところに、色々な椅子や椅子のような腰掛けることの出来る形のものが在って座れます。屋外にも在ります。もちろん図書館にも在りますね。椅子を置いてある空間は、ほとんどみなその性格が異なっています。その中から自分が居心地の良い場所を見つけ、本を読める座る場所を探してみてください。本を読むことは一人でしか出来ません。

皆さんも、是非自分の専門の中で、いろいろなテーマを見つけていただきたいと思います。そのテーマを見つけるにあたって、大学の図書館には本がたくさんありますので、そこを歩いているうちに、何かにぶつかるのではないかなと思っています。

そして繰り返しますけれども、出来ればこの四年間の内に自分の一冊の本、それはもちろん専門と関わってもいいですし、専門と必ずしも関わる必要はありませんが、一冊の本を是非見つけて、それを一生持って歩いていただきたいと思います。



# 電子ジャーナル活用法 ～国内論文を探す～

レポート課題の文献を集めなければならないとき、どのように図書館や資料を活用していますか？日本の学術論文を探す場合、まずは GeNii（NII 学術コンテンツ・ポータル）で検索してみよう！

## GeNii（ジーニィ）とは

国立情報学研究所（NII）が提供している目録所在情報サービス、情報検索サービス、電子図書館サービス等の学術情報サービスへの総合検索窓口です。

各コンポーネント「CiNii」「Webcat Plus」「KAKEN（科学研究費成果公開サービス）」「NII-DB R（学術研究データベース・リポジトリ）」を統合的に検索します。これにより、どのコンポーネントにあるのかを意識しなくても、求める情報にたどりつくことができます。

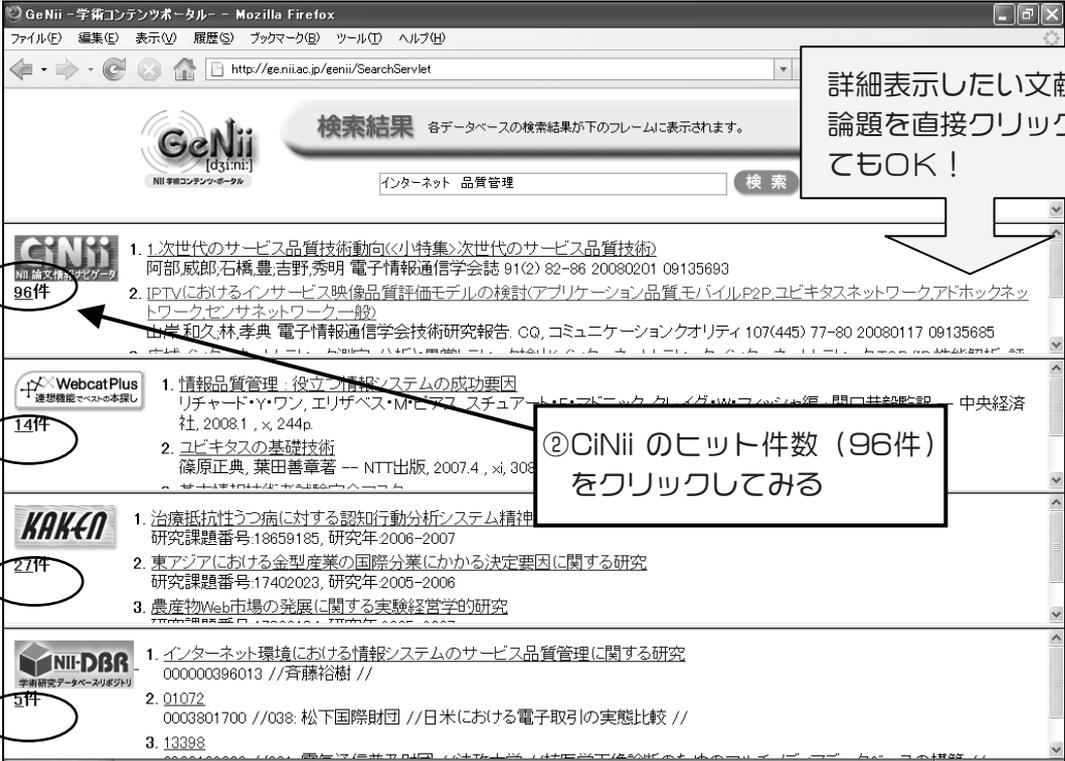
## ■ コンポーネントの内容

- **CiNii（サイニィ）** [一部有料]  
日本語の学術論文を中心にした論文情報を提供。日本語文献を検索する際の基本データベースである雑誌記事索引（国立国会図書館）を収録しています。
- **Webcat Plus（ウェブキャットプラス）** [無料]  
図書・雑誌の書誌情報・目次情報と所蔵機関情報を検索できます。また、ひとつの言葉から無意識のうちにいくつかの関連する単語を思い浮かべるように、検索キーワードから関連性の高い単語を抽出し、それを含む図書を探し出す連想検索が行えます。
- **KAKEN 科学研究費成果公開サービス** [無料]  
科学研究費補助金により行われた研究に関して、当初採択時のデータ（採択課題）と研究成果の概要（研究実績報告、研究成果概要）を収録しています。
- **学術研究データベース・リポジトリ** [無料]  
国内の学会、研究者、図書館等が作成している学術的なデータベースを公開しています。

本荘キャンパスは平成20年7月より CiNii の機関定額制を導入しました。有料コンテンツのうち、「定額許諾」の文献は本荘キャンパスの学内パソコンから自由に閲覧することができます。定額許諾以外の有料コンテンツを閲覧する場合は、個人での契約が必要となります。

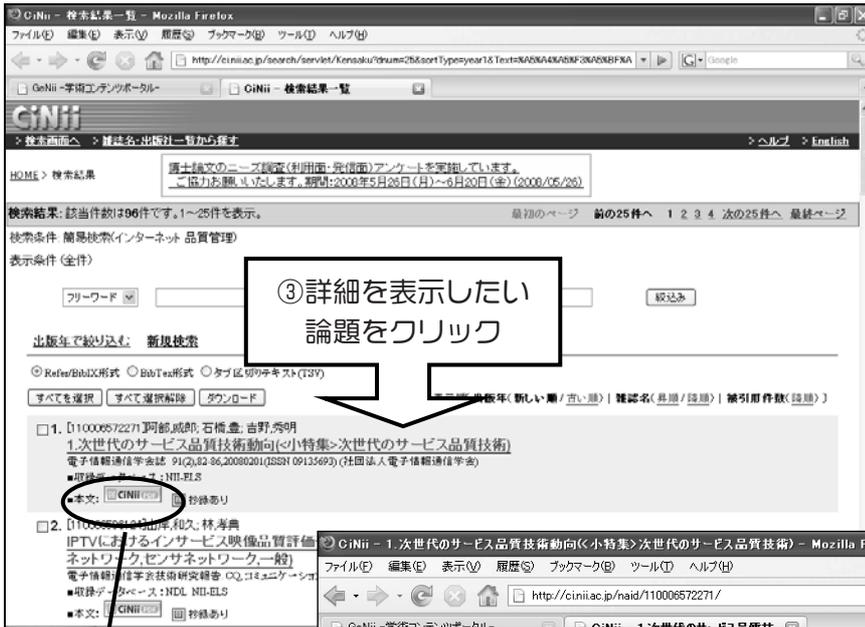
# GeNii 検索方法

GeNii (http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp) を開いて、まとめて検索にキーワードを入力

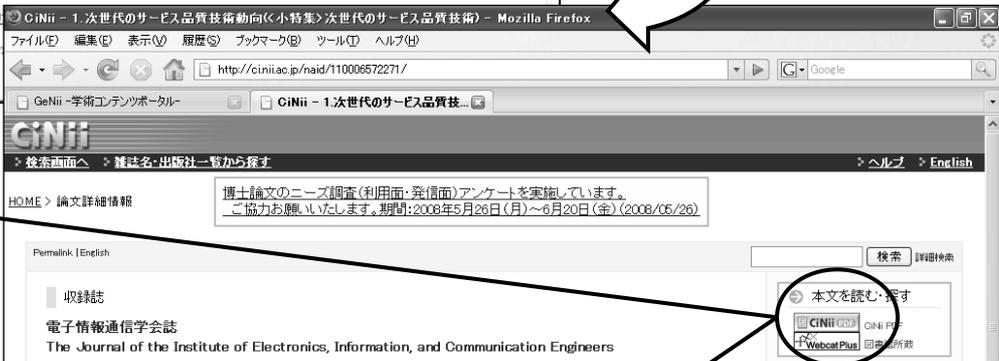


各データベースのヒット件数が表示されます。

CiNii の検索結果一覧画面

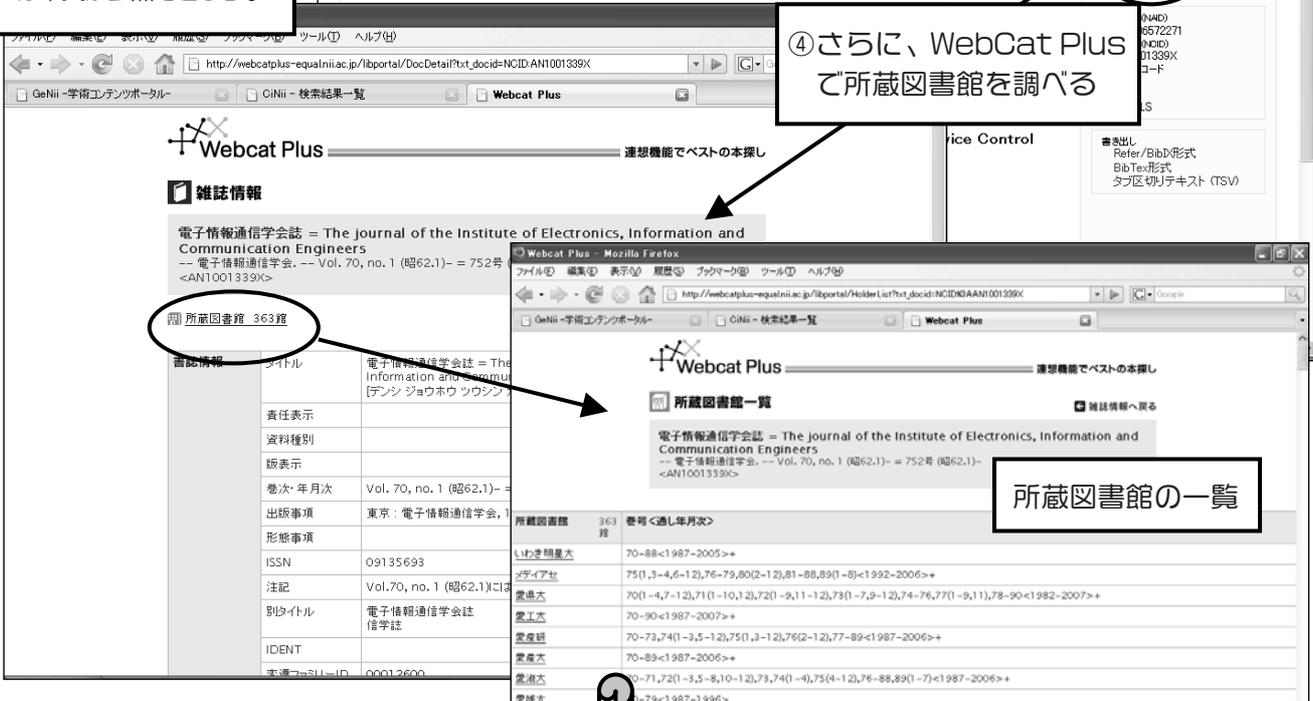


③ 詳細を表示したい  
論題をクリック



④ さらに、WebCat Plus  
で所蔵図書館を調べる

無料一般公開論文および  
定額許諾（本荘のみ）  
は本文が参照できます。



所蔵図書館の一覧

オンライン上で入手できない文献は、  
所蔵図書館から取り寄せることができます！  
申込み方法については図書館カウンターにお問  
合わせください。

